



## 淨土真宗

『淨土真宗』というものは、昔からわが家に  
つたえられてきた宗旨のなまえです。  
その『淨土真宗』を開かれたのは親鸞聖人  
というかったです。

そこまではどうにか、お寺の子供会等で小さ  
いときに習いましたし、家でも祖父祖母か  
らいつとはなしに教えてもらっていました。  
ところが、その親鸞さまの『淨土真宗』が  
どんな教えなのか、私のくらしとどんな関  
係があるのかなど、この歳になるまで聞いた  
ことはありませんでした。

おじいさんの十七回忌ということで、大勢  
親戚にも来てもらつて法事をつとめましたと  
き、最近お寺の跡をついで住職になられた若  
いご院家さんが、マア新米だからなのでしょ  
う、ソリヤー張り切つて一時間あまりも長い  
長いお説教をされました。

初はビデオを撮っていましたが、時間が切  
れてしまつたので、後半はお声だけ録音テー  
プに撮らせてもらいました。それらをあとで  
何回も繰り返し聞いて、お陰で今までしなら  
んだ『淨土真宗』の意味合いを知りました。

淨土真宗の『宗』というのは、「よりど  
ろ」。

なにを「いのちのよりどころ」にせよとい  
うのかというと、「眞実」です。だから『眞  
宗』と言います。「眞実」とは「いつわらず  
へつらわず。かならずもののみとなる」こ  
とだと親鸞様は教えておられます。

「いつわらず、へつらわず」  
いまの日本にある宗教の多くは、「☆☆した  
ら助かるよ」と、物で釣つたり甘いことばで  
いる。

騙したり。人の悲しみや恐怖などのヨワミに  
付け込んだり迎合したりして、その場しのぎ  
の慰めを売り物に、信者獲得に精をだしてい  
るそんな宗教が殆どです。

「かならずもののみとなる」

というまのは、そんな宗教の多いなか、眞実  
の宗教の親鸞さまだけは、「いつでもどこで  
も、どんな人にも、当て頼りになるすばらし  
いいのちとなつてくださる」ものをおしそう  
下さつているのだということです。

その「いつでもどこでも、どんな人にも当  
て頼りとなるゆるきないのち」は、

実は『淨土』といって

「ことに煩惱だらけの凡夫を、清浄な世界  
、清らかな国土に生まれかわらせてやらねば  
」との、如来様の願いはたらき(本願力)を

仰ぐときに、めぐまれるいのちなのだと言う  
ことでした。

「わかつたようでわからない」というのが  
正直な今の私の気持ちです。

さいわい今度のご院家さんは、わたしより  
少し年下だけにへだたりがありません。しか  
も「淨土真宗」は繰り返し繰り返し「聞く」  
ことが第一。なんべんでも聞いてほしい。と  
言つて下さいましたから、私は今、そうさせ  
てもらいたいと強くここに決めたところで  
す。

わからぬながら、なにか「いのち」がゾ  
クゾク躍り立つような気がしております。

## 特別積立金について

平成十四年まで、経常費割り  
りと同額の金額を、毎年秋彼岸を納期に收め  
ていただいております「特別積立金」は、昨  
年完成いたしました

山門・鐘楼の建設費

春の「経常費割り」と、今次の「本堂修復  
・庫裡厨房改造、その他畳替えなどの特別寄  
付」等、引き続き重ね重ねのご負担をおかけ  
していることで誠に恐縮至極に存じます。

何卒ご理解のうえ今後ともご尽力いただきま  
すようお願いもうしあげます。

お問い合わせがございましたので、回答か  
たがたお願い申し上げます。



## 報恩講

## 報恩講

## 報恩講

十一月二十一日(日)	午後七時半より
十一月二十二日(月)	午前十時より



一日	長寧寺報恩講
二日	敬老報恩講運営員会
三日	茨木善照寺別永代經
四日	文化の日・谷垣律夫様三回忌 教区布教団第三ブロック研修会
五日	光頭土守繼職法西女 同じ
六日	沢田定男氏宅法事
七日	西方寺報恩講
八日	竹野西照寺報恩講
九日	近畿仏婦大会(奈良橿原)
十日	D S・ボランティア連絡会
十一日	別修却報因講
十二日	和田山西方寺報恩講
十三日	兼井隆雄氏宅法事
十四日	本覚寺報恩講
十五日	和田山西方寺報恩講
十六日	福成寺報恩講
十七日	水上組同朋講座(正覺寺)
十八日	友遊クラブボランティア
十九日	津居山照満寺仏婦法座
二十日	関岡敏雄氏宅法事
二十一日	D S
二十二日	正福寺報恩講
二十三日	神戸西幸寺報恩講
二十四日	真覚寺報恩講
二十五日	神戸西幸寺報恩講
二十六日	正福寺報恩講
二十七日	友遊クラブボランティア
二十八日	D S
二九日	岡野隆氏宅法事
三十日	みのりを聞く会定例法座

## 十一月のことよみ

二七日	古河松浦寺芳賀法要
二八日	ビハーラ兵庫研修会(出石)
二九日	ビナーラ兵庫研修会(城崎)
三十日	

